



小学生の国際交流

市では、子ども達が、外国の文化についての興味や関心を深め、豊かな国際感覚を培うことを目的に、積極的に国際交流を進めています。

2月に2つの小学校で、国際交流が始まりました。

●南小学校とルーマニアとの交流



2月7日(火)、南小学校の6年生108名が、在日ルーマニア大使秘書のシルビアさんから、ルーマニアの歴史や文化、

人々の暮らしなどを学びました。

これは、昨年8月に、南小学校とルーマニアの首都ブカレストにある「ヘラストラウ小中学校」が調印した「パートナーシップに関する理解合意書」に基づき初めて実現した交流事業です。

民族衣装で教壇に立ったシルビアさんが、日本語で「コンニチハ」とあいさつをすると、子ども達はルーマニア語で「ブナ・ジワ」とあいさつを返し、初めての授業がスタート。子ども達は、ルーマニアでの生活や学校の様子を質問するなど、興味津々。今後は、インターネットを通じて、両校の子ども達の直接交流も予定されています。

●富士見小学校とブルキナファソとの交流

2月8日(水)、富士見小学校と同校PTAの主催で、西アフリカ・ブルキナファソのサポネ村にある「コアグマ小学校」との交流事業がスタートしました。

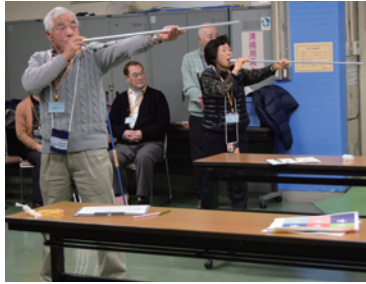


この日、在日ブルキナファソ大使館のナナー一等参事官が同校を訪れ、2年生の授業を見学した後、5年生の合唱を聴くと、手拍子によるリズム遊びを披露。早速、友好を深めました。今後、両校は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催される2020年までの約3年半、両国の文化の紹介などを通じて交流していきます。

腹式呼吸を上手に使い、的を射る

2月10日(金) / レクリエーション吹き矢教室(奥富公民館)

脳の活性化などにも効果があると言われていた吹き矢。息の量や吐く強さを調整しながら、7メートル離れた的を狙い、楽しく点数を競いました。



「明日へ」をテーマに、市民の作品が一堂に

2月21日(火)～26日(日) / 狭山市民芸術祭(市民会館)



年に一度の市民主体の総合芸術の場。舞台では、四季の移ろいを狭山を愛した詩人・故吉野弘氏の詩の朗読とともに、踊りや演奏で鮮やかに表現しました。

27年度さやま市民大学地域ジャーナリスト養成講座修了生がお届けします

さやま・レポート (子育て④)



ここは市内で唯一の自治会主催の子育て支援広場。玄関には遊びに来る子ども達の名前が書かれたかわいいワッペンが並び、室内は月の行事に合わせた飾りで彩られます。

取材した1月は、色々な種類の凧や壁に貼られた手作りの羽子板が並び、お正月の雰囲気にも包まれていました。広い室内は、子ども達が走り回っても、ボールを転がしても大丈夫。お母さんから離れたところで遊びに夢中になっても、多くの目が届いていて安心できるので、自然とお母さん同士の会話も弾みます。

4月は花祭り、5月はこいのぼりと季節の行事も行われます。親子ともに、ホッとできる憩いの場へお気軽にどうぞ。誕生会もやっていますよ!

◆水押自治会子育て支援広場(水押自治会集会所 北入曾540-3) 日時毎月第1水曜日、10時～11時30分 駐車場5台 問合せ佐野由夫さんへ ☎2958-0461

◆水押自治会子育て支援広場(水押自治会集会所 北入曾540-3) 日時毎月第1水曜日、10時～11時30分 駐車場5台 問合せ佐野由夫さんへ ☎2958-0461

優勝は「狭山さといものティラミス風」

2月19日(日) / 狭山さといも料理グランプリ(狭山元気プラザ)

里芋特有のねっとり感や芋の白さを生かした市民オリジナル料理6品が登場。審査員5名と来場者約300名が、アレンジされた狭山の特産を堪能しながら、投票でグランプリを決定しました。



おいさに笑顔がこぼれます



里芋とヨーグルトでチーズの風味を出した、ティラミス風のスイーツ

室町時代から伝承される日本最古の喜劇

2月12日(日) / 小学生のための狂言教室(中央公民館)

逆さ言葉での掛け合いがユニークな狂言「入間川」にゆかりのある狭山市。6年生23人が市内在住の狂言師から、「摺り足」などの所作を学びました。狂言「蝸牛」の節回しも体験し、狂言の世界に親しみました。



背筋を伸ばし胸を張って行う動作は、見た目以上に大変

県の無形民俗文化財が商店会と連携

2月10・11日(金・祝) / 甘酒祭り(梅宮神社)

伝統ある饗宴型の酒盛り祭り。10日の「宵宮」では、神事「座揃式」が厳かに行われました。露店が並ぶ11日の「大祭」では、商店会主催の「新狭山すかいロード冬まつり」と連携。両会場を結ぶバスも運行されるなど、伝統行事を未来に伝える試みも始まりました。



並びます



境内で醸造された御神酒の出来栄を確かめます



あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

立春の前日に「厄除招福」を願う年中行事

2月3日(金) / 節分会(禅龍寺)

広瀬囃子が奉納され、護摩が焚きあげられた後、住職と祓禊の年男らが威勢の良い掛け声とともに豆をまき、厄を払いました。参加した保育所の園児は、次々にまかれる福豆や紅白もちに大はしゃぎ。持ってきた袋は「福」で満たされました。



無病息災でいられるように 鬼は外! 福は内!

5年生81名の夢が一つのカタチに

2月7日(火) / 「夢をかなえるプロジェクト」発表会(狭山台小学校)

「夢」に挑戦する楽しさや難しさを学ぶ事業。アイデア満載の仕掛けが連続する「ピタゴラ装置」に挑戦しました。半年かけて作った体育館いっぱいの巨大なコースをビー玉が転がり、無事にゴールすると、子ども達は歓声を上げて、夢の実現を喜び合いました。



一緒に作った日々は、忘れられない思い出に